



2020年8月17日

報道関係者各位

慶應義塾大学

KGRI・IoT健康ライフ研究コンソーシアムの発足

—健康長寿社会への貢献を目指し、産学連携で研究シーズを育てる
大学研究モデルの新しい試み—

慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート（KGRI：Keio University Global Research Institute）では、世界をリードする日本の長寿社会における様々な課題、リスクに関わる研究、そして健康増進、健康長寿のための支援を行うシステムの基礎技術開発を行い、その成果を広く社会に広めることを目的とした、「KGRI・IoT健康ライフ研究コンソーシアム」を2020年4月に設置しました。慶應義塾大学の幅広い学問領域の研究者の専門知識や技術を融合し、IoTを活用したバイタルデータの取得および解析により、生体機能をモニタリングしアルゴリズム等の研究成果を生成することに焦点を当てています。また、慶應義塾大学における当分野の研究を推進し、そこでの研究成果が将来、各協力会員企業において、健康増進や疾病予兆の発見および対策等のヘルスケアサービスとして実用化されることを企図しています。また、本コンソーシアムによって得られた慶應義塾大学の研究成果と新たな情報をもとに、さらに研究開発を進め、その成果について「健康機能年齢インデックス」として世界標準化を図ることを目指します。

この趣旨にご賛同いただける企業の皆様には、協力会員企業として参加いただけます。

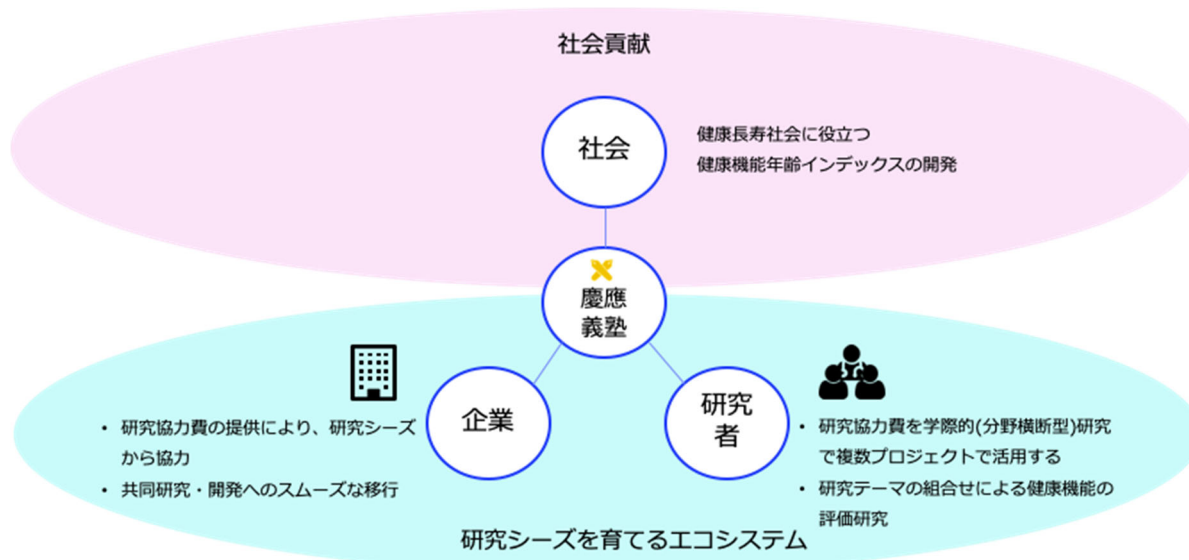
1. 研究テーマ ～医学的データの測定と生活習慣・環境要因の改善による健康寿命伸延～

加齢に伴う機能年齢に大きく関係する以下の5つの領域（能力・機能）の継続的な生体情報をモニタリングし、個人ごとに異なる状況を経時的に測定予測して、改善を維持するIoTヘルスケアとAIの仕組みを確立することを目指します。

- 1) 人体の恒常性：腸内細菌叢や免疫力等の評価
- 2) 人体の感覚：視力および聴力の評価
- 3) 人体の運動能力：歩行運動および転倒リスクの評価
- 4) 人体の認知能力：会話能力および認知能力の評価
- 5) 環境および生活習慣：睡眠、食事、運動量、ストレスの評価

2. 社会、企業、研究者の三者で推進する大学研究モデル

本コンソーシアムでは、研究フェーズから企業に参加いただき、研究シーズを育てるエコシステムの確立を目指します。また健康長寿社会に役立つ「健康年齢機能インデックス」を研究テーマとし、社会に貢献します。慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート（KGRI）がイノベーション推進本部と協力し、このモデルを実現します。



また、本コンソーシアムでは、日本アイ・ビー・エム株式会社から、すでに海外において実績のある大学研究支援プログラムに関するツール類の提供を受けます。実用化を加速するためのアドバイスを受けることもできます。

3. 協力会員企業の役割・特典

この趣旨に賛同いただける企業の皆様には、本コンソーシアムの存続期間中（3年間）、研究推進支援のために定められた研究協力費を、会費としてご協力いただきます。

協力会員企業は、コンソーシアムの中で、横断的な領域で並行して実施される複数の大学研究プロジェクトを、研究シーズとしてご覧いただくことができます。コンソーシアムでの研究終了後、個別契約いただくことで共同研究に移行することもできます。

なお、2020年4月のコンソーシアム発足後、現時点（2020年8月）で、サントリーホールディングス株式会社、株式会社ヤクルト本社、サンスター株式会社、大日本住友製薬株式会社、株式会社新日本科学など、多業種の企業から賛同いただいています。

※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、科学記者会、各社科学部・社会部等に送信させていただいております。

本発表資料のお問い合わせ先

KGRI・IoT健康ライフ研究コンソーシアム事務局

Email：kgri-iot-office@adst.keio.ac.jp

本発表資料の配信元

慶應義塾広報室（安延）

TEL：03-5427-1541 FAX：03-5441-7640

Email：m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/>